

1 { 1月に予定されているセンターのイベント情報や、
 Jan { その他のお知らせについてご案内します。 }

新春野鳥観察会「ムーチーピーサでちゅううがなびら」

ムーチーピーサが吹く季節、とても寒い、寒い漫湖は絶好の観察日和。
 運が良ければ、珍しい鳥にだって会えるかもしれない！？
 観察のあとは、みんなでムーチー食べて、一年の健康祈願もしちゃおう！

【講 師】比嘉邦昭さん(沖縄野鳥研究会)

【日 時】2013年1月27日(日) 10:00-12:30

【場 所】漫湖水鳥・湿地センター

【参加費】¥100(※保険料として)

【対 象】小学生以上(※低学年は保護者同伴)

【定 員】20名

【持ち物】防寒具、筆記用具、エプロン、頭巾、手拭き、飲み物
 (※双眼鏡と図鑑はセンターで貸し出します。)

【お問い合わせ】漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

漫湖みんなでミュージアム2012 受賞作品展&表彰式

たくさんのご応募ありがとうございました。

今年の「漫湖みんなでミュージアム」は、絵画、作文、写真の部で合計866点の応募がありました。
 そのたくさんのお応募作品の中から、厳正なる審査のうえ受賞作品が決定しました。
 つきましては、以下の日程で受賞作品展と表彰式を開催します。

【受賞作品展】2013年1月20日～2月3日 【場所】漫湖水鳥・湿地センター2F

【表彰式】2013年1月20日 10:00～11:30 【会場】漫湖水鳥・湿地センター2F 研修室

年末年始の休館日のご案内

漫湖水鳥・湿地センターは、12/29(土)～2013年1/3(木)まで年末年始の休館日とさせていただきます。
 なお、年明けは1/4(金)から通常開館日となります。

Topic :

{ いきものファインダー
 漫湖の風景 - 14 }



「まさか!」の、ハエ登場です。

11月に入ってから冬鳥たちのにぎわいに、つつい干潟へと足が向いてしまう。そんなある日、カメラを手に木道で水鳥を写真に収めていると、ふと一匹の虫が手すりに止まったのが目に入った。良く見るとハエである。普段だと気にすることでもない虫なのだが、この日はワケが違った。その全長1センチにも満たない小さな塊は、全体の風景の中で明らかに光を放っていた。目の前の水鳥よりも、どうしてもそこに視線が引き寄せられてしまう。ただのハエにここまで表現は大袈裟かもしれないが、それくらい輝いて見えたのである。おそらくキンバエの仲間であろうことは想像できるのだが、それ以上の事は良く分からない。ただ、この瞬間このハエは、他の昆虫と同様に興味の湧く存在であり、その完成された形態と光沢のある金緑色からは、いつものあのハエの印象はどこかへ消え去っていた。

ちょっと足を伸ばして、 三角池まで。

11月8日(日)に行われた「秋の野鳥観察会」は、いつもよりちょっとだけ足をのばして、近くの三角池まで行ってみました。この観察会は沖縄県との共催で行われた観察会で、漫湖を含めた南部地域の貴重な湿地について広く周知するというのが目的にありました。ここ漫湖もそうですが三角池についても、鳥が好きな人にはある程度知られているとしても、地元に住んでいる人はそこがどういう場所なのかあまり知らない、という人が多いのが現状です。今回の参加者でも地元に住んでいる方たちのほうが、三角池の鳥の多さとその距離の近さにビックリしていました。今回は、その三角池で出会った鳥たちを少しだけ紹介します。

まずはセイタカシギです。漫湖でも少数観察できますが、こんなに群れている姿はなかなか見られません。この日も皆で仲良くエサをついばむ様子が観察できました。あの特徴的なピンク色の長い足は、やっぱり女の子に人気です。

続いてはコガモです。三角池はカモ類が多いのも特徴の一つです。この日はコガモの他にキンクロハジロもたくさん観ることができました。



セイタカシギは女子に大人気



三つの石に仲良く並ぶコガモ



漫湖ではほとんど見なくなったバン

そして、バンです。三角池では一年中観察できる留鳥です。この日は幼鳥も2羽確認できました。このバンも、昔は漫湖でも普通に見られる鳥だったのですが、近年ではほとんど観察できなくなってしまいました。その理由として、マングースによる被害が考えられています。

そして残念なことですが、漫湖と同様に三角池でも水鳥たちと同じくらいゴミが目立っていました。空き缶やプラスチック容器、ペットボトルなどたくさんのゴミは、見た目の印象だけでなく、水鳥たちの生活環境そのものにもかなりのマイナスでしょう。しかし、このゴミ問題はどうか？皆さん、ゴミは必ずゴミ箱へ捨てましょう！そして落ちているゴミはできるだけ拾いましょう！大切な湿地を、そして水鳥の生活を守るために、今できることから始めてみましょう。

■ 2012.11/1 — 2012.11/30

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 44 種 }

漫湖 寄鳥見鳥

漫湖で確認された鳥類一覧

11/11



1, ゴイサギ	26, ユリカモメ
2, ダイサギ	27, キジバト
3, チウサギ	28, カワセミ
4, コサギ	29, リュウキュウツバメ
5, アオサギ	30, キセキレイ
6, クロツラヘラサギ	31, ハクセキレイ
7, ミサゴ	32, シロガシラ
8, サシバ	33, ヒヨドリ
9, ハヤブサ	34, イソヒヨドリ
10, オオバン	35, シロハラ
11, シロチドリ	36, ウグイス
12, ムナグロ	37, シジウカラ
13, ダイゼン	38, メジロ
14, トウネン	39, ギンムクドリ
15, ウズラシギ	40, ホシムクドリ
16, ハマシギ	41, ムクドリ
17, アカアシシギ	42, ハシブトガラス
18, コアアシシギ	43, ドバト
19, アオアシシギ	44, シマキンパラ
20, キアシシギ	45,
21, イソシギ	46,
22, ダイシャクシギ	47,
23, ホウロクシギ	48,
24, チウシャクシギ	49,
25, セイタカシギ	50,

今秋初飛来。

今年、沖縄で越夏し漫湖で定期的に観察されていたクロツラヘラサギに加えて、11月に入って新たに今秋初飛来のクロツラヘラサギ3羽が合流しました。新顔のクロツラヘラサギは、3羽とも初列風切にまだ黒色が目立つ若鳥です。初確認されたちよつこの日は朝から大雨で、増水した水が干潟に川のように流れ込んでいました。その水の流りに身を投入し、バシバシと何度も水浴びをしているクロツラヘラサギは、まるで長旅で疲れた体を、勢いよく風呂に投げ入れる旅人かのように見えました。

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。